

vol.1

禁断の愛に姉弟は溺れる

狂愛の月

笹木ささ

私はあの子の
姉だもの

もていごの嫁には
必要のない用が用

すくなくとも
いられるなんて
思ってたかった
けど……

だけどいざ
離れるとなると

やはり寂しく
感じるものね……

何が
寂しいの？

政宗！

伊達家嫡男

伊達 政宗



お掃りなさい
政宗

無事に戻ってきて
くれて嬉しい



うん

いま戻って
きたの？



馬を走らせて
きたんだ

早く姉さまの
顔が見たくて



父上が良い
縁談があるって
おっしゃって…

といつても
まだ先のこと
でしょうけどね



姉さまが
縁談…？

ええ



姉さまは俺を置いて
この城を出ていく
つもりなの？



政宗…



聞いて…
聞いて…か



政宗…
貴方は姉さまの
誇りよ

こんなに立派に
なったんだもの



いつか貴方も
家を継いでお嫁さんを
貰うことになるのよ

私がいつまでも
この城に居座る
わけにはいかない
でしょう？

…頼みが
あるんだ

今夜一緒に
眠ってくれない
かな…？

ええ
わかったわ

子供の頃
みたいに…

本当は少し
嬉しかった

もう政宗に
姉さまは必要
ないわ

政宗がまた…

私を必要として
くれている気が
して…



お酒飲むの？



こんなふう
過ごせるのも
最後になる
だろうし

たまには
付き合っ
てよ

き...

私弱いから
少しだけよ？

縁談の話が
そんなに気に
障ったのかしら...



私がお酒苦手なの
知ってて飲ませて
くるなんて...







離れるなんて
許さない